

# あこう館のたより

4月

発行責任者  
西川 晃 二

## 【校長室より】

### 平成24年度の始めにあたり

はじめまして、第23代目の校長として、この度、長崎県立五島高等学校に着任致しました西川晃二と申します。

まず、自己紹介をいたします。

前職は県教育委員会高校教育課高校教育班参事でした。生徒の指導を中心とした高校教育全般、及び教員の研修を支援する班の班長でした。その意味では県の教育行政の中では最も現場に近いところであったかと思えます。また、私の場合、わずか1年での現場復帰でございますので、まだまだ勘は鈍っていないか？とは、思いますが……。その前は、猶興館高校大島分校、佐世保北高校にて教頭、副校長を経験、教員としては、上対馬高校を初任とし、長崎北高校で教壇に立ってきました。



二女、一愚妻及び猫一匹の女系家族でございます。日々肩身の狭い思いをしております。趣味は特にございませんが、上対馬高校で覚えた釣りが趣味と言え、言えそうです。

さて、自己紹介は以上ですが、以下、新入生PTA入会式でお話しいたしました内容を転載することで、学校の経営方針をお伝えし、保護者の皆様へのお願いとさせていただきます。

ただいま、普通科166名、衛生看護科18名の皆さんの入学を許可いたしました。入学おめでとうでございます。教職員一同、心から歓迎いたします。

先ほど式辞の中では校訓と学校スローガン、そして生徒向けに「不易と流行」の「流行」についてお話ししましたが、保護者の皆様には同じく「不易と流行」の「不易」について、お話ししたいと思います。

ただいま、掲示板には以下の文言を掲示しています。

- 一 教育の根幹は生徒指導の充実にあります
- 一 学校は鍛錬の場、なさねばならぬ場
- 一 厳しい愛情に裏打ちされた信頼関係の構築

というものでございます。内容についてはお聞きになったとおりでございますが、すこし言葉を足ささせていただきますと

一つ目の「教育の根幹は生徒指導の充実にあります」につきましても、生徒指導の充実がまず優先しますという当たり前の内容です。基本的な生活習慣が身に付いて初めて学習も部活動も成立するということです。そのためにはご家庭と学校との連携が何よりも重要なこととなります。特にご家庭においては、何よりも朝食をきっちりとらせる、というご指導をお願いいたします。かつて食育の研修で学んだことですが、食事のあり方が生徒の健康、低血圧、ひいては不登校との関連も大きいというように伺っております。家族団らんの食事のあり方をご検討くださいますようお願いいたします。なお、生徒指導面での問題は、速やかな情報交換をお願いいたします。

二つ目の「学校は鍛錬の場、なさねばならぬ場」については、学校は、ある意味修行の場ではあるかと思えます。それ故に、なさねばならないことを「なさねばならぬ場」であるという文言を述べたものです。これは、会津藩日新館の什の掟を強く意識したものです。什の掟には次のようなものがあります。

<什の掟>

- 一 年長者にはお辞儀をしなければなりません
- 一 嘘言（うそ）を言ふことはなりません
- 一 卑怯な振舞をしてはなりません
- 一 弱い者をいぢめてはなりません

などなど、そして最後に「ならぬことはならぬものです」と結んでおります。

日新館は「ならぬことはならぬものです」という、より強い物言いですが、生徒主体の文言とするために同じ趣旨を伝えられるのではないかと思います。このような「なさねばならぬ場」という文言にしました。

三つ目の「厳しい愛情に裏打ちされた信頼関係の構築」については、教師たるもの、「厳しくなければ優しくない、また、優しくなければ厳しくない」なのではないでしょうか。厳しさを踏まえての優しさ、優しさを踏まえての厳しさ、その「あわい」の感覚を意識できる教員こそ「本物の教師」になれるのではないのでしょうか。生徒に寄り添いつつも生徒とは常に一線を画する先生方になって欲しいとの思いで述べたものです。

あと一つ保護者の皆様にご紹介したいものがあります。お手元に一枚物でお配りしているかと思いますが、「子は親の鏡」という詩でございます。この詩につきましても、親子関係にとどまらず、生徒と教師との関係にも言えるのではないかと思います。ご紹介させていただきます。

#### <子は親の鏡>

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいところだと思えるようになる

「子供が育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス共著、

石井千春訳、PHP研究所)より引用

高校の三年間は、長いようで短いものです。一日一日を大切に、卒業を迎えたときに、「五島高校に入学して良かった、素晴らしい高校生活だった」と心から言えるような充実した三年間にしたいと考えておりますので、ご協力・ご支援のほどよろしく申し上げます。

以上のお話しをさせていただきました。112年目の県下有数の伝統校、そして確固たる進路実績を有する五島高校に赴任し、心引きしまる思いであります。

教職員一同 新たな気持ちで五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしく願いいたします。

### 新転任の先生方

校長	西川 晃二	国語	高校教育課より
教諭	本田 洋久	地歴	長崎南高校より
教諭	茶園 孝一	地歴	大村高校より
教諭	久保田幸成	国語	西陵高校より
教諭	七條 克広	理科	松浦高校より
教諭	永山 一朗	英語	佐世保商業高校より
教諭	北川 昭彦	数学	佐世保南高校より
教諭	今鹿倉 直	理科	諫早高校より
教諭	石田 奈美	看護	新規採用
教諭	久本 志帆	看護	新規採用
養護教諭	奥野 智美	養護	西陵高校より
講師	中田 禎明	理科	西彼杵高校より
主任主事	月川 充輝	事務	福江小学校より
主事	浜崎 渚	事務	欠補採用
非常勤	山崎 京子	事務	

### 分掌・学年主任の先生方

教務部	高比良 裕	衛生看護科	田代 章子
生徒指導部	引地 勝	ｽｰｯｺｰｽ	神近正二郎
進路指導部	中野 秀紀	寄宿舎	濱口 嘉洋
生徒会指導部	酒井 明彦	第1学年	山口 一守
教育相談部	木田 博子	第2学年	村田 誠
保健美化部	中村 孝士	第3学年	楠本 亨
研修図書部	田中雄一郎		

### PTA総会のご案内 5月26日(土)

PTA総会・学級懇談会を5月26日(土)に開催します。多数の保護者の皆様の御参加をお待ちしています。

## 入学式 9日(月)

春の日差しが降り注ぐ中、午後1時から、本校体育館にて入学式が行われました。国歌斉唱の後、新入生184名が西川校長から入学を許可されました。校長式辞においては、入学における心構えや期待することをお話いただきました。本校には「向学 磨け知性を」「融和 語ろう理想を」「進取 燃やせ気魄を」という校訓があり、伝統校・名門校としての誇りと自覚を持ち、豊かな未来を切り拓くために、自ら学び、考え、行動できる逞しい人間になってほしいとの言葉をいただきました。また、「不易と流行」における「流行」についてのお話もあり、「常なる挑戦」、「常なる前進」「常なる実行・実践」という新入生を後押ししていただく言葉がありました。入学したときの気持ちを忘れることなく、常に未来に向かって輝く五島高校生になってほしいです。新入生代表宣誓では5組の久保幸太郎君が「学業に専念し、五島高校の伝統の継承と新たな歴史の創造に邁進します」と宣誓を行い、新入生による初々しくも力強い校歌が体育館に響き渡りました。



## 入寮式 9日(月)

9日(月)に入寮式が行われました。今年度は男子6名、女子9名が新しく入寮しました。入寮生を代表して1年6組の郷原大樹くんが宣誓をしました。その後、校長先生から気持ちの入ったお言葉をいただき、舎監長・副舎監長の紹介や寮生活の約束事の説明等が行われました。

親元を離れての生活に不安も大きいでしょうが、先輩方の手助けを受けながら一日でも早く寮生活に慣れてほしいと思います。五島での生活を充実したものにしていきましょう。

## 対面式 10日(火)

10日(火)に対面式が行われました。まず生徒会長の野口貴史君が「目標を持った高校生活を送りましょう」と歓迎の挨拶を行いました。続いて、1年7組の赤松利栄さんが新入生を代表して「不安も多いですが、先生方、先輩方、ご指導をよろしく願います」と挨拶をしました。

また、新転任の先生方の個性溢れる自己紹介も行われ、生徒たちの顔にも笑顔が見られました。2、3年生による「蒼き故郷」の歓迎合唱も行われ、新たな出会いへの喜びを大きな声で表現していました。

新入生や新転任の先生方を迎え、五島高校の24年度がスタートしました。今までの伝統を引き継ぎながらも、一人一人が個性や力を発揮し、更に飛躍できるような五高生活を送りましょう。



## 新入生宿泊研修 12日(木)～14日(土)

国立諫早青少年自然の家において2泊3日の新入生宿泊研修が行われました。この研修の目的は、様々な体験を通して、学年やクラスの融和を深め、五島高校生としての誇りや自覚を身に付けることでした。集団行動・校歌遠征歌練習では、集団における規律の大切さやクラスで協力して一つのものを作り上げることの素晴らしさを学ぶことができました。入学間もない中、クラスワークで自己紹介やクラスの委員決定を行い、クラスの雰囲気明るくなっていきました。

二日目は、雨天の中で登山を決行しました。そのため、当初の予定とは違うコースを登りましたが、頂上に登った時の達成感は何物にも代え難いものでした。足場が悪い場所でもお互いに声を掛け合いながら、歩を進める姿からは仲間との絆が生まれたようでした。また、夜にはキャンドルファイヤーを行いました。暗闇の中で光るろうソクの光は、これからの高校生活の未来への灯火でした。その中で今年度の第1学年スローガン「ともに熱く生きる」を発表し、最後は「ふるさと」を歌い故郷五島を思い出しました。

最終日には、集団行動コンテストと校歌・遠征歌コンクールが行われ、この3日間の練習の成果を発揮しました。クラス毎に工夫を凝らした発表が見られ、クラスの特徴が生まれてきていました。

この研修を通して五島高校生への成長はみられましたが、これからの学校生活での行動が大切です。研修だけでなく満足することなくさらに自分自身を大きく成長させてほしいと願っています。

集団行動コンテスト 優勝5組 2位4組 3位6組  
校歌・遠征歌コンクール 優勝1組 2位5組 3位2組



## 普通科64回生・衛生看護科37回生 結果総括

国公立大学合格者数74名

(国立大学合格者数47名)

国公立大学合格率48.4%

難関大合格者数5名(阪大2名、九大3名)

長崎大学合格者数16名

私立大学合格者数102名

(早稲田大、西南学院大等含む)

公務員希望者(自衛隊除く)3名合格

(長崎県警察、山口県警察、大阪府警察)

衛生看護科:准看護師資格試験全員合格

(29名)

※合格者数は現役生のみ延べ人数

学校全体で見ると、ここ数年の比較では数字的にやや厳しい結果となりました。しかし、それぞれに自分の進路目標に向かって粘り強く取り組む姿も多く見られました。早く進路が決定した生徒も、まだ決まっていないクラスメートのためにも、率先して学習に取り組んでいたように思います。他者を思いやるやさしい生徒が多く、我々教員が助けてもらう場面も多かった学年でした。卒業生のこれからの活躍に期待したいと思います。

## 各学年より

### 「第一学年の生徒のみんなへ」

第1学年主任 山口 一守

第1学年の生徒のみんな、五島高校への入学おめでとう。心から歓迎します。これからの学校生活をともに過ごせることを楽しみにしています。国立諫早青少年自然の家で過ごした3日間、君たちの姿を見て、本当に心がワクワクしています。

その研修で、私は君たちに「時間厳守・挨拶・整理整頓・相手を見て話を聞く」という4つのお願いをしました。この項目の中で最近、気になっている「時間厳守」について書きたいと思います。課題や提出プリント、徴収金など学校に提出するものはたくさんありますが、まずは忘れないように、とにかく早めに準備することを徹底して下さい。そして、君たちはもう高校生です。もし、忘れ物をした場合、保護者に持ってきてもらうのはやめませんか？自分で忘れ物を取りに帰ってほしいです。でも、家がどうしても遠い、準備することができない場合は、先生方に報告、連絡、相談をして下さい。

「われ十五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、七十にして心の欲するところにしたがいて矩を越えず」この文章は論語の中にあるものです。詳しい内容については、自分で調べたり、国語の先生に聞いてほしいですが、君たちは十五歳という年齢で、五島高校を選び、受験し、合格しました。五島高校で学ぶことを志して、やって来ました。これからの人生を有意義なものにするためには、高校三年間で学習や部活動・学校行事を通してたくさんの経験をし、学ぶことができるかが鍵だと思います。

保護者の方に頼ってばかりいると、君たちの自立心が育たないのではないかと気になったのでこのような文章を書きました。自分でできることは、自分でやりましょう。そして、周囲に困っている人がいたら、手を差し伸べてあげましょう。私は君たちにそんな学年団になってもらいたいです。

### 「社会人基礎力」

第2学年主任 村田 誠

新2年生のみなさん、進級おめでとう。高校生活も1年が過ぎ去り、この五島を離れる日が近づいてきました。（そのうち帰ってきてね。）2年後、仕事に就き、さっそく社会の荒波にもまれる人もいるでしょう。みなさんは「社会人基礎力」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。平成18年2月、経済産業省が「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を3つの能力から成る「社会人基礎力」として定義づけし、発表しました。その3つの能力とは①前に踏み出す力（アクション）②考え抜く力（シンキング）③チームで働く力（チームワーク）です。昨年度3月の「あこ風」の中では、「生きる力」について書きましたが何か似てますよね。

こんな力が必要だ。なんて本当は言わなくても常識で分かりそうなものですが、現在の社会の中では大きな問題なのでしょうね。さて、五島高校での、みなさんの生活と比較して考えてみましょう。①自分の進路実現のために、本気で頑張らないと間に合わないと感じているけど、前に踏み出せない・・・②ちょっと考えてみたけど、難しそうだから解答を写して終わり・・・③今度の行事は班で行動することになっているけど、仲の良い友達といっしょにいたいから・・・心当たりのある行動はありましたか？心当たりがある人は、そのまま社会に出てしまうと困ったことになってしまいそうです。

逆に言うと、これら普通のことが普通にできれば、社会でも生き生きと生活できると言えるでしょう。

さあ、2年生のみなさん、前に踏みだそう！考え抜こう！チームワークを大事にしよう！

### 「今、勉強していますか？」

第3学年主任 楠本 亨

3年生の皆さん、いよいよ受験生としてこれから自分の進路実現に向けて努力していくわけですが、そもそも君たちは何のために勉強しているのでしょうか？4月の学年集会のときに、話をきちんと聞いている人はもう分かるでしょう。人として成長するためにやっているのです。もちろん大学に合格して、さらに高度な学習内容を身につけたいから勉強している人もいるでしょう。そこで、ある人の話をしたいと思います。

名古屋市に在住している藤吉宇代（たかよ）さん（74）が、昨年夜間の中学を卒業しました。小さい頃から貧しく育ち、中卒の学歴もなく苦労して育ったそうです。ローマ字がはじめて読めるようになったとき、英語の先生と一緒に涙を流したそうです。また、あるとき「この前ね、数学のルート（ $\sqrt{\quad}$ ）が分かったの。もっと早く勉強したかったわ。そしたら高校に行けたかも。」とうれしそうに話していたそうです。3年生にもなると、どの教科も受験を意識した内容なので、毎日が苦労の連続だと思います。しかし、君たちも大なり小なり、学んだことが理解でき、それが身についたときに喜び感動した時期があるはずですよ。それをもう一度思い出して、この1年間取り組んでみてください。

5月1日現在で、センター試験まで263日、准看護師資格試験まで290日です。長いようであっという間で。1日1日を大切に、これからの学習に対して誠実に取り組んでください。第3学年の先生方は君たちのために一生懸命頑張ります。充実した1年にしていきましょう。

保護者の皆様におかれましては、日頃の学年の指導に対し、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。今年度も、学年主任をつとめることになりました。今年度は進路決定の年で、ご家庭でもご苦労が続くことと思いますが、第3学年職員一同 保護者の皆様との連携を強め、お子様を指導していきたいと考えておりますので、引き続きご支援をよろしくお願いたします。